

平成四年十月一日〜二日

「草木塔を訪ねる」

草木に感謝 そして自然の力を知る

& 大平温泉応援ツアー



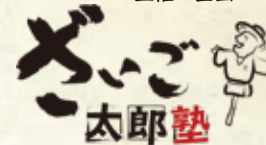
- 1日目**
- 9:00 伝国の杜 集合・受付開始
 - 9:30 出発 (ジャンボタクシー)
 - 10:00 田沢コミセン到着
 - 田沢地区の暮らし、資料見学など
 - 1箇所目 上屋敷 草木塔
 - 2箇所目 大明神 草木塔
 - 12:00 道の駅 なごみの郷 昼食休憩
 - 3箇所目 上中原 草木塔
 - 4箇所目 下中原 草木塔
 - 14:00 田沢コミセン トイレ休憩
 - 14:30 伝国の杜 到着 大平温泉へ (ジャンボタクシー)
 - 15:30 大平温泉駐車場 到着
 - 16:00 徒歩にて滝見屋旅館へ (約 1km)
 - 自由時間 秘湯温泉を楽しむ
 - 18:30 夕食 ~ 自由時間 ~ 就寝



大平温泉
滝見屋の露天風呂

- 2日目**
- 8:00 朝食
 - 10:00 までにチェックアウト
 - ジャンボタクシーで伝国の杜まで
 - 11:00 伝国の杜着後解散

主催・企画



2022.11.11/12
フレッシュリース作り講座
2022.12.3
自分で作るお正月しめ飾り講座

予告!

不便っておもしろい! よねざわで遊ぼう! 学ぼう! 元気になろう!

お問い合わせ: ざいご太郎塾 <https://zaigotaro.club/>

〒992-0044 山形県米沢市春日5丁目1-40-4 TEL/FAX.0238-21-6350 (株)tree 内
令和4年度 米沢市協働提案制度補助金事業

一 上屋敷 薬師堂境内 草木供養塔

寛政一二年（一八〇〇）の建立である。

碑文は中央に「草木供養塔」とあり、向かって右側に「寛政十二甲天」左側に「八月十五日」「導師 瑞林寺」と刻まれている。

また、碑文の上部には、釈迦如来を意味する種子（梵字）の「バク」がある。建立者の「導師 瑞林寺」は、室町時代以来の由緒をもつ真言宗醍醐派の寺院で、築沢地区の屋敷集落にある。戦前までは、瑞林寺が草木塔をはじめとした石塔の祈禱をしていたが、現在は東寺町の観音寺が引き継ぎ、ご祈禱後、地区の人達とともに直会を行っている。境内には、草木塔以外にも湯殿山



や青面金剛、子待塔などの石塔が建立されており、山村集落の庶民信仰の中心地であったことが窺われる。

二 大明神沢 草木塔

安永九年（一七八〇）の建立で、現在確認されているものでは塩地平の草木塔と並んで最古である。もとは湯の花橋付近にあったものを他の二基の石塔とともに当地へと移設されたといわれている。

碑文は塔頂部に阿闍如来を意味する梵字（種子）の「ウン」を置き、中央に「一佛成道親見法界草木国土悉皆成仏」と日本仏教の一節が刻まれている。向かって右側に「安永九庚子天」「講中」、左側に「八月一日」「□田沢村」とあり、建立年月日と建立者がわかる。本草木塔のよう



に経文のみが刻まれているものは他にみられず貴重である。

塔頂部の種子や隣接する「湯殿山三十三度参詣供」と「高平山大明神」の石塔からは山岳信仰を強く意識していることが窺われる。

三 上中原 草木塔

慶応元年（一八六五）に建立された大型のもので、風格のある草木塔である。道路改修に伴い、上中原の国道一・二一号线沿いに補修移転をした。

石碑の中央には、くずし字で大きく「草木塔」とあり、向かって右側に「慶応元年七月廿日」、左側に「三田沢講中」と刻まれている。建立者の「三田沢講中」の「三田沢」とは、□田沢・神原・入田沢を指す。

本草木塔は、この地域で大切に祀られてきており、現在も（財）田沢自彊会が主催し、地元の前澤寺住職を導師として、六月上旬中旬の日曜日に供養祭を催している。その際には、「草木供養之御礼」のお札が配



布されており、貴重な庶民信仰の形態が現在へと引き継がれている。

四 下中原山根 草木塔

文政六年（一八二三）八月の建立で、現在は市道（赤道）内に所在している。

石塔は塔頂部が西側に傾いたような楕円形状を示しており、中央に細身で大きく「草木塔」と刻まれ、向かって右側面に「文政六年未年八月」と建立年月が銘記されている。

近くには他に二基の石塔が建立されており、うち観世音は草木塔と同じ建立年月であることから、関連性があると思われる。

また、対面する地藏堂は女性信者が主体となって祭祀を行っており、草木塔と地藏講との関わりについても窺うことができる。

